第2節 基本目標2 身近な自然環境を守り育てます

1 自然環境の保全と創造

現 状

1 地形地質

本市の地形は、南から北へ、讃岐山脈、丘陵地、讃岐平野の一部を形成する高松平野と続いており、北は瀬戸内海に面しています。また、平野部の東西は山となっています。

平野の境界を画する低位山塊や、国の史跡天然記念物である屋島、石清尾山等の独立山塊は、台地状・円錐状を呈しており、これらはメサ（溶岩台地）またはビュート（円錐状の山）と呼ばれるもので、これら火山性山塊群が特徴的です。瀬戸内海の島々も同様の山塊群です。

この山塊群は主に花崗岩を基盤とし、その上に凝灰岩、讃岐岩質安山岩が重なって形成されています。山頂の讃岐岩質安山岩は風化しにくいため残り、台地状や円錐状の山が形づくられたものです。

2 植生

讃岐平野は古くから人が住み着き盛んに活動をしてきた地域であり、市内はほとんどが代償植生となっており、自然植生はわずかしか残っていません。

しかし、地域のよりどころとして保存されてきた寺社叢林、平野部の山塊群上部、沿岸部の崖地などで、貴重な群落や植物種が確認されています。

3 動物

瀬戸内海から讃岐山脈に至る広大な範囲に、山地、丘陵地、平野、ため池、田園、里山、台地状・円錐状山塊群、半島、島といった豊かな自然環境に恵まれており、多くの貴重な動物が確認されています。

特に、南部地域の山間部には、貴重種から典型種まで様々な野生動物が生息しています。また、平野部の水田やため池にも様々な種が生息しています。

4 自然景観

低湿な沖積地と急峻な花崗岩台地のコントラストが特徴で、特に紫雲山～稲荷山～石清尾山、屋島等が市内とところどころ島のようになり、ランドマークになっています。

また、合併に伴う市域拡大により、山地（非火山性孤峰 堂山ほか5山）、河川（滝不動の滝）および海岸（海食崖 船隠西岸ほか7か所、陸けい砂州 大島中央部）等の新たな自然景観が加わりました。

自然景観資源一覧

自然景観資源名		名 称	摘 要
山地 (非火山性) 景観	非火山性高原	五色台	瀬戸内海国立公園
	非火山性弧峰	屋島 石清尾山, 紫雲山 浄願寺山, 由良山, 日山, 上佐山, 紅峰, 串ノ山 勝賀山, 加藍山, 六ツ目山 (国分寺町) 堂山, 鷲ノ山, 火ノ山 (牟礼町) 五剣山, 立石山 (庵治町) 竜王山	瀬戸内海国立公園
河川 景観	滝	(塩江町) 不動の滝	
海岸 景観	多島海	長崎ノ鼻の北沖	瀬戸内海国立公園
	陸けい砂州	(庵治町) 大島中央部	
	砂浜・礫浜	男木島東岸	瀬戸内海国立公園
	海岸崖	男木島西岸, 女木島南西海岸, 長崎ノ鼻東岸, 浦生集落の北部, 紅峰の北岸, 大崎の鼻	瀬戸内海国立公園
	海食崖	(庵治町) 高島東海岸, 鎌野集落の南東, 船隠西岸, 兜島, 稲毛島, 大島北端, 大島の南岸, 船隠の西海岸	
	海食洞	男木島の南端, 女木島の北端	瀬戸内海国立公園
その他	上記以外の際 立った地形	(塩江町) 落合橋下流 (香川町) 岩崎橋付近	
特殊地形節理※		女木島の中央部	瀬戸内海国立公園

※：節理…地質学成因による岩石・岩盤中に明瞭かつ平滑な割れ目。面が平面で整然としている場合には使われることが多く、複数の割れ目が群れをなしている。岩石・岩盤の破壊現象の一種である。

第1章

基本計画の
基本的事項

第2章

高松市の
基本的特性

第3章

高松市の
望ましい環境像

第4章

施策の展開

第5章

計画の推進

資料

5 法規制

自然保護に関連した法規制については、屋島や五色台を中心に法令に基づく区域の指定により自然系の土地利用の保全が図られています。

また、沿岸部・島しょ部は瀬戸内海国立公園に、讃岐山脈上部は大滝大川県立自然公園に、中南部の藤尾山一帯は香川県自然環境保全地域に、また庵治町内の3か所の海浜は香川県自然海浜保全地区に指定されています。

自然保護関連の法規制

(平成19年4月1日現在)

名称	地域等	法令名
自然公園	屋島，五色台，女木島，男木島等 (瀬戸内海国立公園) 大滝山，竜王山，大川山等 (大滝大川県立自然公園)	自然公園法 香川県立自然公園条例
県自然環境保全地域	藤尾山自然環境保全地域	香川県自然環境保全条例
県自然記念物	9か所：岩田神社のふじ(植物)など	
風致地区	高松風致地区 (栗林町一丁目，室町，東ハゼ町，峰山町， 宮脇町二丁目，西宝町二丁目，西宝町三丁目， 室新町，中野町 約230ha)	都市計画法
緑化推進地域	庵治港臨海部，国分寺町橘ノ丘 香南町横井地区	みどり豊かでうるおいのある県土づくり条例
主な保安林区域	屋島，峰山，芝山，亀水地区等	森林法
県自然海浜保全地区	鎌野自然海浜保全地区 高尻自然海浜保全地区 竹居自然海浜保全地区	香川県自然海浜保全条例

6 森林・里山

讃岐山脈では比較的多くの天然林が残り、豊かな自然を育んでおり、山頂部は県立自然公園に指定されています。

平野や丘陵地の一部では二次林を利用した里山が形成されており、生物の生息・生育地となっています。

しかし、人工林を中心に、森林開発による森林面積の減少や松枯れなどにより、かつて豊かだった森林・里山の荒廃が進んでいることから、本市では分収造林事業等を計画的に進めているほか、県と連携して森林ボランティアによる森林整備も行っています。

7 農地

本市では、広大な平野を活かした水田が農地の多くを占めています。しかし、山間部を中心に、農業労働力の高齢化、農業後継者の減少により、管理が粗放化した農地が増加しています。

農地は食糧生産の場だけではなく、水源の涵養や洪水などの自然災害の防止にも役立つほか、特に水田は多くの動植物を育む場にもなっています。

また、本市では、遊休農地解消策等としての市民農園や農作業を通じて、自然にふれあえる機会を提供することも農園といった事業を展開しています。

課題

1 地形・地質

平野部におけるメサ（溶岩台地）やビュート（円錐状の山）は、本市の誇る優れた自然景観でもあり、また、貴重な植生が見られたり、里山の一部となっている場合があります。開発行為によっては、貴重なこれらの地形・地質の一部を改変し、影響を与える可能性があり、開発に当たっては景観や植生、里山としての機能に配慮した上で、計画的に実施することが求められます。

2 植生

都市化や開発に伴う自然環境の変化は、植物だけでなく、そこに生息する動物にも多大な影響を与えています。これらの生育状況を把握するため、定期的な調査を実施するとともに、貴重な群落・種については、必要に応じて種や生育環境の適切な保全対策を講じなければなりません。寺社叢林は、多くが周辺から孤立した独自の生態系を持っており、保全には特に留意する必要があります。

また、生物多様性・生態系の観点から、貴重な群落・種だけでなく、典型的なものを含め、様々な植物が生育できる環境を維持することの重要性を認識することも必要です。市民が学べるよう、市、環境活動団体などが連携し自然観察会を実施するほか、情報の提供などを充実させていく必要があります。

3 動物

生物多様性・生態系の観点から、貴重種だけでなく、身近に見られる動物の生息環境を維持することの重要性を認識することが必要です。かつて、メダカは日本全国で見られましたが、生息環境の減少状況から貴重種に指定されています。メダカだけでなく、都市化の進展等土地利用の変遷による里山の減少などで危機に瀕する種もあります。

また、市民が生物や自然環境について学べるよう、市、環境活動団体などが連携し自然観察会を実施するほか、情報の提供などを充実させていく必要があります。

4 自然景観

平野部におけるメサ（溶岩台地）やビュート（円錐状の山）については、本市の誇る優れた自然景観であり、開発行為によっては、特徴的なこれらの自然景観を改変し、影響を与える可能性があります。

自然景観の復元は難しいことから、植生や里山としての機能にも配慮した上で、計画的に開発を行うことが求められます。

5 法規制

開発行為等がある場合、法規制を遵守することはもちろんのこと、適用外の案件についても、その内容を十分に理解し吟味した上で、必要に応じて開発行為者と協議の場を設けることも重要です。

6 森林・里山

森林や里山は、森林資源を生産・利用するだけでなく、水源の涵養や洪水・土砂崩れなどの自然災害防止の機能も有しており、また、動植物の生息・生育環境でもあります。

しかし、林業の停滞により、これらを林業従事者等の手により良好な状態で維持・管理することは困難となっています。現在、ボランティアによる活動も行われていますが、これをさらに充実・発展させていく必要があります。

また、市民に、森林の有する環境保全機能等の公益的機能や森林の適正な維持・管理の重要性に対する理解を広めることも必要です。加えて、今後の森林の在り方として、健全な森林を再生し、豊かな自然を育めるよう、針葉樹から広葉樹への転換も図っていかねばなりません。

さらに、平野部や丘陵地における森林は、現存量が少ないものの開発されやすいことから、地下水や河川水としての水源涵養や、市街地と周辺との緩衝空間として、また、人と自然とのふれあいの場として保全していくことも重要です。

7 農地

今後の農業の在り方として、地域の特性に合わせた農業を行うとともに、農薬や化学肥料の使用を控えるなど、環境負荷の少ない環境配慮型の農業へ転換していくことが課題となります。

さらに、従来型農業からの脱却を図り、集団営農や観光農業など新たな形の農業を模索・振興していくことも重要です。

市の取組

1 豊かな自然環境の保全

(1) 造林助成事業の推進

災害防止・水源涵養など、森林の多面的機能の確保を図るため、森林所有者による計画的な植栽・下刈・枝打・除間伐等の造林事業に対して、助成金を交付します。

(2) 分収造林事業による森林整備の推進

森林資源造成のため、分収造林地を整備することにより、水源涵養および緑化による自然環境の保全を図ります。

- (3) 中山間地域等の農地における耕作放棄発生防止と、農地の持つ多面的機能の確保
中山間地域等における耕作放棄地の発生を未然に防止し、農業生産活動等が継続されるよう、農業生産条件の不利を補正するための支援を行うこと等により、水源涵養・洪水防止機能など農地の多面的機能の確保を図ります。
- (4) 藻場整備事業の推進
埋め立てや環境の悪化によって失われた、沿岸域の藻場を効率的に造成し、水質の改善と魚介類の産卵・育成の場を復元することによって、豊かな水産資源を確保します。
- (5) 森林・里山の保全の推進
森林組合や林業関係者等に加え、NPOや企業の活動と一層連携する中で、市民参加による森林や里山の保全活動を推進します。

2 身近な自然環境の調査

水生生物調査の実施

私たちに身近な存在である川の水質状況を把握するため、川底に住んでいる生き物を調査することにより、その地点の水質の汚れの程度を知ることができる水生生物調査を実施します。

- ※ 高松水環境会議において、幅広い議論を重ねる中で、水質、森林保全などの課題に取り組みます。

私たちにできること

1 市民

- (1) 自然のしくみを正しく理解し、自然を大切にしよう努めます。
- (2) 森林ボランティアなど、自然の保護・保全活動に積極的に参加しよう努めます。
- (3) 身近な環境における動植物の生息・生育環境の保全に努めます。

2 事業者

- (1) 環境に影響を及ぼすことが予想される事業については、関係法令などにに基づき環境影響評価を行うなど、適切な環境保全に係る措置を講じるとともに、地域住民への説明会などにより情報提供に努めます。
- (2) 施設の新たな整備や改築などを行う際には、周辺の自然の保護・保全を十分考慮しよう努めます。
- (3) 地域における自然保全活動に、積極的に参加・協力します。

環境指標

指標名	現況 (H18)	目標 (H27)
分収造林事業による間伐枝打ち面積	401 ha	700 ha
中山間地域等集落協定数	67 件	現状維持

2 身近な自然とのふれあいの充実

現 状

自然とのふれあい

本市では、遊休農地解消策としての市民農園や農作業を通じて、自然にふれあえる機会を提供することも農園といった事業を展開しています。

また、市有山林を活用したふれあいの森の整備や、親子自然体験活動事業の支援などを行っています。

市民農園開設状況

平成19年3月31日現在

か所数	面積(m ²)	区画数
28	63,819	1,307

課 題

自然とのふれあい

近年、自然とのふれあいや野外レクリエーションに対する市民の期待は高まっており、これらのニーズに対応した施設・事業の整備を図るなど、身近な自然の楽しさや大切さを実感できる場の整備に努めていくことが必要です。

市の取組

1 レクリエーション型農業の推進

(1) 市民農園整備事業の推進

市民に農作業を通じて農業に対する理解を深め、健康でゆとりのある市民生活の場を提供するため、JA香川県と連携して市民農園の整備を推進します。

(2) 子ども農園事業の推進

子どもたちが生活の中で自然と取り組み、土に親しみ、農作物等を作る喜びと勤労の尊さを体験することにより、健康で情操豊かな子どもの成長を図るため、子ども農園事業を推進します。

2 自然とふれあう場づくり

(1) ふれあいの森の整備

市有山林を活用し、散策道の整備をはじめ、四季の草木樹の植付・休憩所・ベンチ等を設置し、市民に自然とふれあう場を提供します。

(2) 環境活動団体の支援

環境活動団体が行う環境学習講座や親子で参加する干潟観察などの自然体験活動を支援します。

私たちにできること

1 市民

- (1) 「食」の大切さ、農業・農村に対する理解を深めます。
- (2) 自然に親しみ、自然から学び、自然を守り育てます。
- (3) 市民参加型の自然調査や自然観察会などに参加し、自然についての知識と理解を深めるように努めます。

2 事業者

- (1) 自然にふれあえる農業体験の場を提供します。
- (2) 自然に親しみ、自然から学び、自然を守り育てる取組に参加します。

環境指標

指標名	現況 (H18)	目標 (H27)
市民農園総開設面積	63,819 m ²	77,300 m ²
子ども農園設置数	14 か所	17 か所